

令和7年度 第2回四條畷市立図書館協議会会議録

1 日時 令和7年7月22日（火曜日） 午後3時30分から4時57分

2 場所 市民総合センター2階 図書館集会室

3 出席

(1) 図書館協議会委員

○出席委員

大庭 つばら委員 尾崎 安啓委員 金城 優子委員 小林 初根委員

林 美香委員 福井 多恵子委員 藤井 啓子委員

○欠席委員

川地 秀治委員 高垣 聡美委員 広谷 光輝委員

※「四條畷市立図書館協議会運営規則 第6条」により、出席者が定数の過半数に達しているため協議会は成立

(2) 四條畷市教育委員会事務局

田中図書館長 太田上席主幹 福井田原図書館分館長

4 議題 次のとおり

(1) 市民総合センター建て替えに係るワークショップ参加について

(2) その他について

5 本日の議事次第記録者 次のとおり

太田上席主幹

6 開会

田中館長

定刻になりましたので、ただいまより、令和7年度第2回四條畷市立図書館協議会を開催したいと思います。本日は、お忙しい中、ご出席いただき有難うございます。

開始前に、事務局出席職員の紹介と本日使用します資料の確認をさせていただきます。

(以下、職員紹介)

続いて、本日使用いたします資料の確認をお願いいたします。

1点め、市民総合センター等用地整備に関するワークショップのチラシ

2点め、図書館まるごと体験ほか、行事のチラシ

以上でございますが、皆さま、全ておそろいでしょうか。よろしければ、以上の資料に沿って議題を進めさせていただきます。

それでは、この後の議事の進行は、会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

福井会長

皆さんこんにちは。いちばん暑い時間に家を出ていただいたかと思いますが、ご苦労様でございました。市民総合センターをはじめとした、整備のためのワークショップがこれから開かれるということですので、皆様のお力をお借りします。どうぞよろしくお願いいたします。

では、議事に入ります前に、まず会議の成立状況について、事務局からお願いします。

田中館長

川地委員ほかお三人から、所用のため欠席との連絡をいただいておりますが、委員定数の過半数の出席をいただいておりますので、四條畷市図書館協議会運営規則第6条の規定により、本日の協議会は、成立しますことをご報告いたします。

福井会長

続きまして、四條畷市立図書館協議会会議の傍聴及び会議録要領の第9条の規定により、会議録を作成する必要がありますので、同条第2項に基づき、会議録に署名いただく委員を指名いたします。本日の会議録署名者は、金城委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

金城委員

はい。

7 議事の要旨

福井会長

それでは、議題に入ります。議題1 市民総合センター建て替えに係るワークショップ参加について、事務局から説明をお願いします。

田中館長

それでは、議題1について、2点ございます。

1点めは、前回6月24日の開催時に、市の施設再編計画のひとつである市民総合センター建て替えに係る基本計画の策定にあたり、市民の声を取り入れることを趣旨に、

市民総合センター関係の団体や審議会のメンバーを含めたワークショップを開催することになった旨を説明させていただきまして、当協議会からも1名選出いただいたところ
です。

当協議会からは、福井会長にご参加いただくことになった次第ですが、ワークショップ
が開催される4日間のうち、ご都合がお悪い日があるとのことでしたので、本日は代
理で出席いただける委員様を選出いただきたく思います。

2点めは、ワークショップへは協議会を代表しての参加となることから、協議会委員
皆さんの意見を持って参加いただきたく、意見のご提出をお願いしましたところ、多く
のご意見をいただきました。有難うございました。その皆様のご意見をこの場で紹介い
ただければと思います。その後、ご意見に関しての感想や、書き漏れたことを追加でお
出しいただくという流れでお願いしたいと思います。

以上、2点でございますが、まず、1点めのワークショップ参加の代理出席の方につ
いて、ご検討をお願いいたします。

福井会長

ただ今、事務局から、説明をいただきました。前回の協議会でワークショップの参加
について話し合いました結果、一応わたくしの名前でエントリーさせていただくという
ことになりました。しかしながら、4日開催されるうちの2日、7月30日と8月27
日は、わたくしが参加できるのですが、その他の8月9日と9月6日は都合があり、参
加できませんので、その2日に関しては、代理出席をお願いしたいと思います。申し訳ご
ざいませんが、ご出席いただける方、いらっしゃいませんか。

林委員

はい。参加できます。

福井会長

有難うございます。では、代理出席は、林委員にお願いさせていただくということで、
よろしいでしょうか。

(一同賛同)

では、林委員、8月9日と9月6日の2日間、お願いいたします。

続いて、2点めの意見紹介に移ります。それでは先ほど田中館長から紹介がございま
した、本日集約していただいた総合センター建て替えに係るワークショップへのご意見
をご紹介していただけますか。

田中館長

ご出席いただきましたワークショップの意見表のコピーをお配りします。本日も出席の方々と川地委員から事前にいただいた8名分です。そうしましたら、順番にお1人ずつお書きいただいたご意見をご紹介しますでしょうか。まず、福井会長からお願いいたします。

福井会長

まず、今の図書館を考えましたら、来館して本を返却して、見たい本を決めて借りて帰っていくということ、滞在が30分程度から1時間で済んでしまう。また、図書館内ではおしゃべりがはばかれるということで、関わるのは図書館の職員だけで、利用者間で交流がない状態かと思います。そこで、利用者間の交流が生まれるような、会話や軽い飲食ができる場をもうけていただきたいと思います。

2番めに、図書館の役割といえば調べものだと思いますので、調査研究ができたり、また、子どもたちが図書館の本を使いながら和気あいあいと学習ができるような、学習スペースがあれば良いと思います。あるいは、個人の調べものや仕事が気軽にできるコワーキングスペースのような場があればと思います。

また、今はスマートフォンで何でも解決できますが、パソコンが自由に利用できる環境があれば良いと思います。

3番めに、特に四條畷市は子育て支援にも力を入れています、本を読むということは、その子の成長にすごく影響があります。私も自身の子育てを通して実感しましたので、幼児が本に親しむ機会をできるだけ多く作れるような場があればと思います。小学校以降では図書館支援員が活動されており、子どもが本に親しむ機会は増えていますが、学校へ行くまでの子ども達が親と一緒に図書館に来て、子どもに読み聞かせをしてあげられるようなスペースがあれば、親子のつながりもまた強くなりますし、良いのではないかと思います。その他、ゲーム遊びができるなど、声を出したり、少し動き回っても良いような空間が設けられたらと思います。

また、そのスペースの存在が他の利用者にも分かりやすいようにして、子どものいる利用者が少し覗いてみようと思えるような空間にさせていただいて、さらに寝転んだりハイハイができるように、床は畳やじゅうたんになっていけば良いと思います。

それから、市民総合センター全体としては、交流の場があればと思いますが、小ホールがないので、今は入り口横のスペースで行っていますが、ちょっとした発表の場で使

えるような規模のホールがあればと思います。以上です。

田中館長

では、私から川地委員の意見を代理で紹介させていただきます。コンセプトは、子どもの居場所になる図書館、子どもが住みたい町としての図書館であり、子どもの居場所になる図書館、交流できるスペースとして、私語が可、体を動かすのも可、親子連れがすごしやすいスペースがあり、また本来の図書館としての機能、静かに読書できるスペースを兼ね備えた図書館にとのことです。

従来の静穏性のみの機能は、現在の図書館には求められておらず、コミュニティ機能強化が求められていると考えますとのことです。

次に、大庭委員から反時計回りをお願いいたします。

大庭委員

まず、立ち寄りやすいエントランスですが、障害のある方が入りやすい場所に入口を作ってほしいと思います。ユニバーサルデザインに丁寧に配慮していただけたらと思います。次に、ホッとできる空間、気安く利用できる簡便性と書きました。机や椅子が並んでいるだけでは居心地が良くないと思いますので、くつろげるような場所があれば良いと思います。また、手続きや申し込みが不要で、ふらっと立ち寄った時に、ここに来れば何か面白いものがあるといよなになれば良いと期待しています。

次に設備の方ですが、十分な駐車スペースや、駐車場からの入館のスムーズさを考えていただければ、来やすくなると思います。

最後に、こども園と隣接するなら、その立地を活かした交流ができる場を作ると書きましたが、難しいとは思いますが、高齢化社会へ向けて、子どもが遊んでいる様子を年配の方が見られるとか、世代間交流ができる場があると賑やかな場所になるのではないかと思います。すべての世代の人が、楽しく時間を過ごせる場になってくれたら良いと思います。

藤井委員

近所の方にもお聞きしましたら、図書館に行ってもゆっくりできないなど、いろいろとおっしゃってしまして、大人と子ども達がお互いに気持ちよく利用できる区分けや広さがあれば良いと思いました。

読み聞かせなどのイベントをいろいろされていますが、一般市民はほとんど気づいていないと思います。もっとアピールできるように、中での活動が見えるように部屋をガ

ラス張りにするなどすれば、イベントに関係のない人にも情報の輪が広がって、気づきがあると思います。

次に、一番望んでいるものですが、休むところ、軽食できるところです。はるばると図書館まで来たら、ゆっくり滞在したいと思うんです。昔あったようなカフェのようなものがあれ良いと思います。

ほかに、インターネットの検索ができるよう、すぐにつながる設備があればと思います。

金城委員

私は図書館めぐりが好きで色々な図書館に行くのですが、良いなと思うのは、広い空間で世代を超えた色々な本が並んでいると長居もできますし、そうした空間にそれぞれの居心地の良い場所があるという点です。例えば、良いソファや隠れ家的なスペースがあって本に集中できるような図書館になれば良いと思います。また、蔵書はいろいろなジャンルで数を増やしてほしいと思います。

それから、市内にあまり自習スペースが無いので、子どもも大人も学習に専念できるスペースもあった方が良くと思います。また、子どもたちが話をしてもよい部屋、集中したい人は個室のような部屋、大学だと中が見えるガラス張りの部屋があるのですが、会議やサークルの活動、子どもへの読み聞かせなどに使えたりするので、そうした部屋も作ってもらえたらと思います。

林委員

図書館に関することは、だいたい出ていますので全体的なことを言います。開かれた施設が良いと思いました。色々な世代の人が利用できる場所であればいいと思います。今は用事が無いと来ない施設という印象があり、通りかかっても中で何をしているかわからないので「入ってみよう」とはならないと思うのですが、いろいろな方が立ち寄りたくなるような場所になれば良いと思いました。そのために、きっかけや仕掛けを作る方が必要なのではないかと思います。そこで用事が無くてもフリースペースがあれば、少し休憩しようということになるかと思いますが、そうしたスペースも開かれた施設になると思います。

次は、予定がなくても立ち寄れば何かに出会える施設。ここに来れば、「来てみよう」と思える情報に出会える、あるいは図書館に来れば何か楽しめるという施設であってほしいと思います。そのためには、どこでチラシなどの情報をもらえるだろう、どこでお

渡しできるだろうと、受ける側も提供する側も思っているかと思しますので、この施設が掲示板などの情報発信の場の一つになれば良いと思います。

それから、カフェやコンビニなど立ち寄れるものや、サンタスペースです。可愛いサンタのコーナーがあって、月ごとに入れ変わると楽しいと思います。

あと質問ですが、建て替えのための公民館施設やホールなどの代替施設が決まっていないのではと思いますが、代替の場がないサークルや団体などは解散になるのではという心配があります。図書館は、市役所の所に建つ新庁舎に仮移転になると聞いていますが、公民館やホールはどうなりますでしょうか。

福井会長

では、後程その質問への回答をお願いします。続けて、尾崎委員どうぞ。

尾崎委員

敷地が限られているので、高層にして、様々な用途の施設が入られるようにするのが良いと思います。建て替えはなかなかできることではないですし、先々のことも考えて、後から追加するとなると経費もかかるので、いろいろな施設が用意できた方が良いと思いました。

ブックスタートで連携している施設は、普段は図書館と別の業務をしているので、同じ場所にある市は普通はないですが、私が以前に図書館長をしていた自治体では、図書館と続いている建物内にその部署があって、とても都合がよかったです。できればそのように一緒にできる場を作られてはいかがかと思います。保護者にとっても便利なので、前で待っているとほぼ全員が参加してくれていました。強みになるので、この機会に考えられたらと思います。

それから、現在取り組んでいる学校図書館支援の関係で、学校司書と図書館司書が、情報交換ができるような、また本の準備などもできるような場所が設けられれば、より円滑に進められると思うのでいかがかと思います。

小林委員

すべての世代が利用しやすい図書館になればと思います。まず、子育て世代が親も子も読書を楽しめる場所です。保護者が子どもに読み聞かせができるスペースはよくあると思いますが、保護者が子どもを見守りながら自分も読書を楽しめるスペースになれば、より利用しやすくなるのではと思います。

それから、青少年が読書に興味を持つきっかけになる場所。青少年の世代があまり図

書館を利用していないと思うのですが、ゆっくり集中できる自習スペースを作れば、それを目的に来館するようになると思います。そうすると、本に興味をわくようなスペースを合わせて用意しておけば、本を読むきっかけになるのではと思います。

それから、30から50代の忙しくて図書館に来にくい世代へ向けて、図書館を目立たせる。前を通った時に図書館があると分かるように、紫外線対策のガラスを使用するなど、中が見えるようにしてはどうかと思います。

それから、高齢者のニーズに応えられる、ゆったりと楽に読書ができる設備です。明るい照明や使いやすい椅子などの設置、車いすで移動しやすい館内に。

また、障がいはいろいろとあると思いますが、現在では本を読むためのいろいろな機器があると思いますので、最新のものを設置して利便性を高めてほしいと思います。

それから、すべての世代が新たな興味や関心を見つけられるように。そのためには、やはり図書館の存在を周知できるように目立たせる、表示することだと思います。

それから、図書館に来館できなくても図書館と繋がれるようにすることだと思います。例えば、行事をライブ配信できないでしょうか。

それから、フリースペースや見えるところで行事ができるような場を作る。

それから、情報発信ですが、ホームページを作っておられますが、「行きたいな」と思えるような発信の仕方を考えていただけたらと思います。

それから、レファレンスを充実させてほしい。図書館の一番の値打ちのあるところですので、自身で探せなくても図書館の職員に聞けば紹介してもらえるとということを周知して充実させてもらいたいと思います。

福井会長

いろいろなご意見を皆さんからお話しいただきました。発表いただいた内容について、ご質問やご意見はございませんか。

林委員

高層にすることは可能ですか。法律などあるかと思いますが。

田中館長

こちらは住宅地ですので、一定の高さ制限はあると聞いています。また、法律での制限だけでなく、近隣への配慮も必要になりますが、現在の3階よりは高くできると聞いています。

尾崎委員

障がいのある方に配慮した建物、図書館に限りませんが、大阪府には福祉のまちづくり条例があるので、あらたに公共施設を建てる時には、一定の基準が決まっていると思います。例えば、エレベータのシースルー化など。図書館の場合は、車いすが通れる書架の間隔にすることや、スロープの設置など、基本的なところは対応されると思います。

あとは、機器の設置ですが、現在では読書機などは性能が良いものがありますので、視覚障がいではなくても高齢になると見にくくなるのでそろえられたら良いと思います。

また、サービスとして、本や自宅に来た手紙などの対面朗読をやっている図書館がありますが、日程調整などでなかなか気を遣うので、今では読み上げ機がありますから、設置すればサービスが進むのではと思います。

あとは、耳が不自由な方への対応ですが、筆談や手話で対応できるようにトレーニングすれば利便性が高まると思います。これらは、建て替えに関係なく進められることだと思います。

福井会長

いろいろとサービスへの要望が出ましたが、かつて図書館に勤めていた身としては、今の人員でどこまでできるのだろうかと気にかかります。施設や設備の話題ですが、なんととっても司書の存在ですから。いかがですか。

田中館長

ご心配いただき有難うございます。現状は今の人員で何とか対応しています。

福井会長

このことは、住民から行政に発信して、直営の大事さ、司書の重要さを分かってもらえるかと思います。とにかく、一般の方にも図書館を認知してもらおうということですね。こちらからも、ボランティアで協力できるような仕組みを考えていっても良いのかなと思います。

尾崎委員

市内に図書館あるいは読書に関するボランティアがたくさんあると思いますが、今はそれぞれの団体ごとに頑張っておられると思います。建て替えにあたっては、それらの団体が集まれる場所が一部屋あれば団体間の交流も生まれて活動がより活発になると思いますので、ぜひ設けられると良いと思います。同じ思いで活動されているので、まとまっていくと思います。利用者が気軽に立ち寄れるようにするのはもちろん重要ですが、

関連団体が気軽に立ち寄れるようになるのも大切だと思います。団体間の情報交換の場にもなったりすると、団体だけでなく図書館側のメリットにもつながります。

福井会長

このように委員でそれぞれの意見を持ち寄って話し合うのは、初めてではないかと思います。それでこれだけの意見を出し合えるというのは、2歩も3歩も進んだ様な気がします。ですから、頻繁に顔を合わせて話をしていると、つながりができるのではと思いました。

小林委員

所属するボランティア団体の名前などは以前からうかがっていましたが、何度も顔を合わせながら、具体的にどのような活動をされているのか、詳しくお聞きしたことがなかったように思います。今までのご発言で、「なるほど活動をされているから思い浮かぶことなのかな」と思うことが度々あったので、一度詳しく紹介いただけたら、それを踏まえてこれから発言を考えられるかなと思いました。

田中館長

簡単な自己紹介は2年ごとの更新の際にお願いしてきましたが、確かに活動の内容まではお話いただく機会は設けたことがなかったかなと反省しています。今年度は例年より3回も多い計5回の開催を予定しており、そうした場を設けるには良い機会かと思っていますので、できれば設けたいと思います。

福井会長

他にご意見やご質問はございませんか。

林委員

代替施設についてお願いします。

田中館長

図書館に関しては、市役所の東別館の北側駐車場に建設予定の新庁舎に仮移転する予定です。公民館機能も同じく新庁舎で仮運営する予定になっています。しかしながら、将来にそこで事業を行う部署のために作られる建物ですので、ホールなどの大きな施設はありませんし、どこまでカバーできるかとなると、貸し部屋がいくつか確保できるというのは聞き及んでいますが、合唱などの多人数での発表などの活動は、そこでは難しいかと思われます。

福井会長

他にございますか。無いようでしたら、議題1は終了します。では、本日の意見を事務局の方でまとめていただいて、ワークショップ参加までにいただければと思います。それを持ちまして第1回に参加させていただきます。

続いて、議題2 その他ですが、事務局から何かございますか。

田中館長

はい。3点ございます。

(以下、3点について説明の要約)

- ① 次回の開催について。9月下旬から10月上旬を予定。議題は、令和6年度実績について。ほかワークショップについて、参加委員からワークショップの様子の報告をお願いいたします。
- ② 行事等の案内。
「図書館まるごと体験会」について、申し込みの状況などを案内。
「懐かしの昭和を紙芝居で振り返りましょう」について、大人向けに実施の旨を案内。
「グリホで泊まろう」について、内容などを案内。
「夏の工作」について、「缶バッジをつくろう」と題して開催予定の旨を案内。
- ③ 広報8月号の図書館特集について。図書館の取り組み全般について紹介される旨を報告。

福井会長

今、事務局から、その他について、3点の説明がありましたが、何か、ご質問などありますか。他にございませんか。無いようでしたら、これをもちまして、令和7年度第2回図書館協議会を閉会いたします。

上記議事録の顛末を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 7年12月18日

四條畷市立図書館協議会会長 福井 多恵子

同 委 員 金城 優子